

科目名	政治学特講			担当教員	小林 正嗣	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED4SLP406
期待される学修成果	教科教育 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	人類の歴史において、様々な思想がどのような認識に基づきいかなる「社会」を想像／創造してきたかを、学生たちが理解する。さらに、学生たちが、本講義を通じて「現代社会の認識」および「理想的社会の構想」のための知的源泉を作り上げる。					
授業の概要	人類は、現在に至るまで、様々な「現実的社会」を経験し、様々な「理想的社会」を構想してきた。それらの「社会」の多様性は、「人間」および「物事」に対する我々の認識の多様性に由来している。したがって、本講義では、人類の歴史において、様々な思想がどのような認識に基づきいかなる「社会」を想像／創造してきたかを理解することを目的とする。ここでは、最初に思想の源流となる古代ギリシャの思想を確認し、それ以降は、時代に沿って、近代の思想までを検討していく。					

授業計画	
第1回	ガイダンス（政治思想とは何か）
第2回	近代合理主義の思想
第3回	道徳哲学の思想
第4回	ドイツ啓蒙主義の思想
第5回	ロマン主義の思想
第6回	ドイツ観念論の思想
第7回	功利主義の思想
第8回	自由主義の思想
第9回	社会主義の思想
第10回	虚無主義の思想
第11回	現象学の思想
第12回	現代思想 1 リベラリズム
第13回	現代思想 2 リバタリアニズムとコミュニタリアニズム
第14回	現代思想 3 平等論
第15回	全体のまとめ

事前学修	2時間	政治思想は次の時代へのつながりが重要になる。前回のレジュメを確認し、それがどのように引き継がれていくのかを推測しておくこと
事後学修	2時間	授業時には詳細なレジュメを配布するので、授業後に再読し、思想家の特徴を確認すること
フィードバックの方法	毎回の授業時にリアクションペーパーを提出してもらう。次の回の冒頭にそれに対する回答をする	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	平常授業第15回（実質的には期末のテストに相当する）にて、各思想家の特徴の理解度を問う
定期試験		0%	
補足事項	思想や哲学は、みなさんにとってはなじみの薄いものかもしれませんが。しかしながら、ある哲学者は、「思索とは詩作である」と述べています。難しい哲学書を紐解かなくても、哲学は詩という形で表現		

	されるのです。講義では、桜井和寿氏の「詩」を授業内容に重ねながら、哲学的に検討します。「ミスチルで哲学する」という不思議な体験ができると思います。
--	---

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
毎回レジュメを配布する	なし	なし	なし	なし
参考資料				